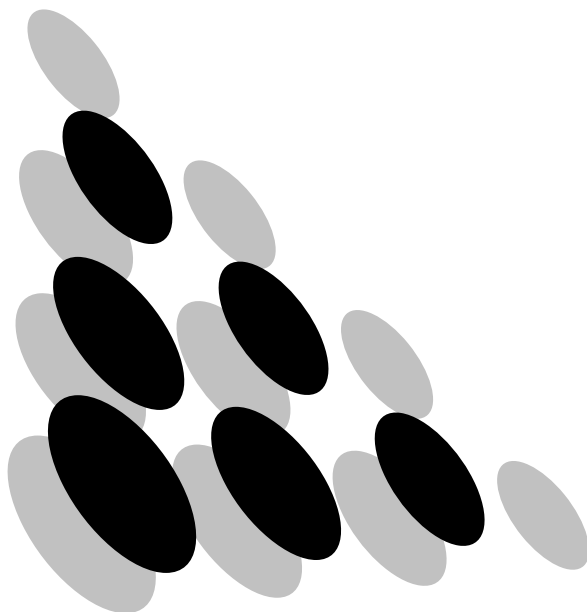


CELSIUS シリーズ

**内蔵光磁気ディスクユニット
(ATAPI) (CLEPD12)**

**内蔵光磁気ディスクユニット追加機構
(ATAPI) (CL2PD12)**

取扱説明書



目次

はじめに	3
安全上のご注意	3
保証について	4
CELSIUS マニュアルの参照	5
装置の廃棄について	5
梱包物を確認してください	6
1 概要	7
取扱説明書について	7
本製品について	8
各部の名称と働き	9
2 準備	11
搭載方法	11
ソフトウェアのインストール	11
3 使い方	15
ディスクの入れ方	15
ディスクの取り出し方	16
4 取り扱いについて	17
本製品の取り扱い	17
ディスクの取り扱い	18
クリーニングについて	20
5 付 録	21
主な仕様	21

はじめに

このたびは、内蔵光磁気ディスクユニットをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、内蔵光磁気ディスクユニット（以下、本製品）の取り扱いの基本的なことについて説明しています。



ご使用になる前にワークステーション本体の CELSIUS マニュアルおよび本書、特に「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解した上で正しい取り扱いをされますようお願いいたします。また、本書は大切に保管してください。

2002年6月




安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、いろいろな絵表示をしています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、お読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。



窒息



- ・ 梱包に使用しているビニール袋はお子様が入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。
窒息の原因となります。

感電



- ・ 異物（水・金属片・液体など）が装置の内部に入った場合は、ただちにワークステーション本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、弊社担当営業員または担当保守員にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

誤飲



- ・ 手動イジェクト治具や取りはずしたネジは、小さなお子様が悪く飲んでしまうように、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

感電



- ・ 本製品をお客様自身で改造しないでください。
感電・火災の原因となります。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・ 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

保証について

本製品の保証について説明します。

- ・ 保証書は必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- ・ 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合には、無料で修理いたします。
- ・ 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- ・ 修理を依頼されるときは、必ず保証書をご用意ください。
- ・ 本製品の保守部品の供給期間は、製造終了後5年間とさせていただきます。
- ・ 本製品の修理・保守およびサポートは日本国内のみに限らせていただきます。日本国内以外での本製品のトラブルに対するサービスは行っておりません。あらかじめご了承ください。
- ・ 本製品に関するお問い合わせは、弊社担当営業員または担当保守員までご連絡ください。

CELSIUS マニュアルの参照

機器の取り付け、ソフトウェア、トラブルシューティング、およびカスタムメイドオプションなどの内容は、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET (<http://www.fmworld.net/>) 内の『CELSIUS マニュアル』に記載されています。「スタート」ボタン→「(すべての) プログラム」→「CELSIUS マニュアル」から参照してください。

装置の廃棄について




本製品を廃却する場合、弊社担当営業員または担当保守員に相談してください。

本製品は、産業廃棄物として処理する必要があります。

なお、本製品はワークステーションで使用していた状態のまま廃棄すると、ディスク内の情報を第三者に見られてしまう恐れがあります。廃棄するときは、ディスクをフォーマットすることをお勧めします。ただし、フォーマットやファイルを削除しただけでは、悪意を持った第三者によってデータが復元される可能性があります。機密情報や見られたくない情報を保存していた場合には、市販のデータ消去ソフトなどを利用して、データを消去し、復元されないようにすることをお勧めします。

■本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

 重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	知っていると便利なことを記述しています。必要に応じてお読みください。
	参照先を記述しています。

RINGOWIN は、富士通株式会社の商標です。

Microsoft、Windows、MS、MS-DOS、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

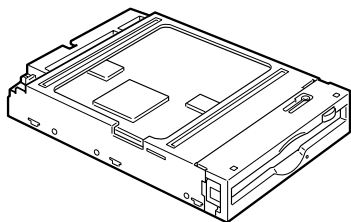
会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

All Rights Reserved, Copyright® FUJITSU LIMITED 2002

梱包物を確認してください

お使いになる前に、次のものが梱包されていることをお確かめください。

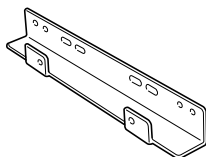
万一足りないものがございましたら、おそれいりますが、弊社担当営業員または担当保守員までご連絡ください。



・光磁気ディスクユニット



・手動イジェクト治具



・5インチベイ用取り付け金具×2
(CLEPD12のみ)

- ・取り付けネジ×8 (CLEPD12のみ)
- ・取扱説明書 (本書)
- ・保証書 (CLEPD12のみ)

POINT

- ▶保証書は必要な事項が書かれているか、ご確認ください。お買い上げ時に正しく記載されていない場合は、保証書が無効となりますので、十分にご注意ください。
- ▶保証書は大切に保管しておいてください。

1 概要

取扱説明書について

本製品をお使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。

お読みになったあとは、大切に保存しておいてください。

この説明書は、次の章で構成されています。目的に合わせて、お読みください。

■ 概要

本製品の概要として、特長や各部の名称と働きなどについて説明しています。

■ 準備

本製品のドライブ番号の設定方法、ワークステーション本体への装着方法などについて説明しています。本製品を装着する際に、お読みください。

■ 使い方

本製品の電源の入れ方、ディスクの入れ方・取り出し方について説明しています。実際にお使いになるときに、お読みください。

■ 取り扱いについて

本製品やディスクの取り扱い上のご注意について説明しています。また、本製品のレンズとディスクのクリーニングについても説明していますので、お使いになる前に必ずお読みください。

■ 付録

本製品の主な仕様について説明しています。

本製品について

■ 特長

本製品には、次のような特長があります。

- ・ 光磁気記録方式により、何度でもデータの書き込み、消去ができます。
- ・ 直径 3.5 インチ (約 90mm) の光磁気ディスクに、約 640MB の大容量の情報が書き込まれます (640MB 媒体使用時)。
- ・ 高速なデータ書き込みを実現する光変調オーバーライト方式の光磁気ディスクをサポートしています。
- ・ 回転数が 5,455rpm と高く、Ultra DMA mode2 に対応しており、高性能です。

■ 使用できるディスク

本製品では、次の直径 3.5 インチの MO ディスクが使用できます。

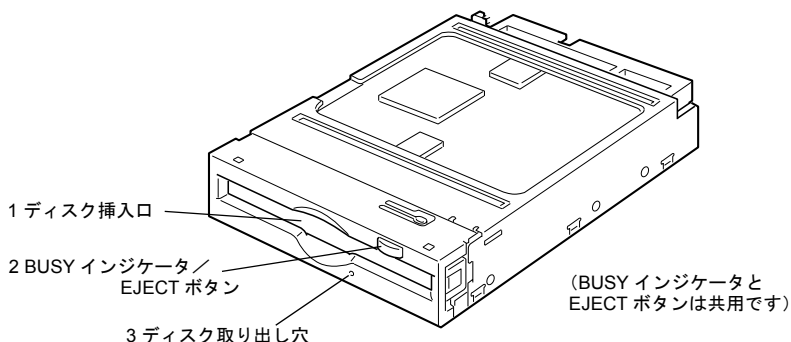
容量	品名	商品番号	備考
128MB	光磁気ディスクカートリッジ R128	0242110	
230MB	光磁気ディスクカートリッジ MR230	0243210	
	光磁気ディスクカートリッジ MOW230	0243310	オーバーライト媒体
540MB	光磁気ディスクカートリッジ MR540	0243410	
	光磁気ディスクカートリッジ MOW540	0243510	オーバーライト媒体
640MB	光磁気ディスクカートリッジ MR640	0243610	
	光磁気ディスクカートリッジ MOW640	0243710	オーバーライト媒体

POINT

- ▶ 総記憶容量は 1MB = 1000 × 1000 バイトで換算しています。

各部の名称と働き

■ 前面 / 上面



1 ディスク挿入口

ディスクを入れます。ディスクの入れ方は、「3 使い方」をご覧ください。

2 BUSY（動作中）インジケータ / EJECT ボタン

・ BUSY インジケータの働き

ディスクのデータにアクセスすると、緑色に点灯します。また、本製品内が規定温度以上になると、読み書きの動作に関係なく約 2 秒ごとに点滅します。

・ EJECT（ディスク取り出し）ボタンの働き

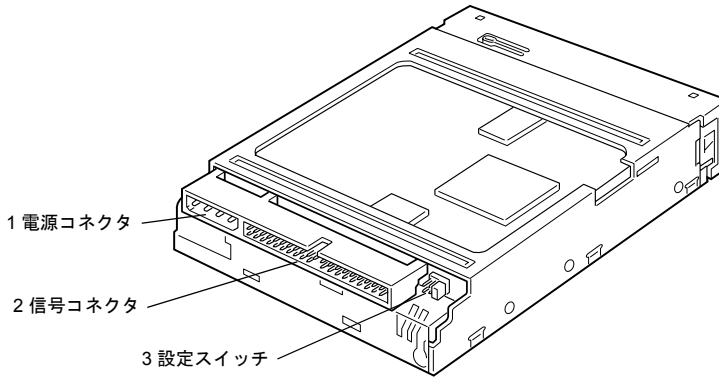
本製品に入っているディスクを取り出すときに押します。

ただし、ソフトウェアでディスクのイジェクト（取り出し）が禁止されている場合は、取り出すことができません。

3 ディスク取り出し穴

万一、ディスクが通常の方法で取り出せなくなったときは、この穴に、付属の手動イジェクト治具を押し込むことにより、ディスクを取り出すことができます。詳しくは、「3 使い方」をご覧ください。

■後面



1 電源コネクタ

ワークステーション本体の電源ケーブルを接続します。

2 信号コネクタ

ワークステーション本体の 40pin IDE ケーブルを接続します。

3 設定スイッチ

本製品の接続モード（マスタデバイスモード、スレーブデバイスモード、ケーブルセレクトモード）を設定します。

ケーブルセレクトモードに設定すると、ワークステーション本体に装着されている IDE ケーブルのどのコネクタに接続するかにより、マスタデバイスモード、スレーブデバイスモードが自動的に決まります。

<table border="1"><tbody><tr><td>5</td><td>3</td><td>1</td></tr><tr><td><input checked="" type="radio"/></td><td><input type="radio"/></td><td><input type="radio"/></td></tr><tr><td><input type="radio"/></td><td><input type="radio"/></td><td><input type="radio"/></td></tr><tr><td>6</td><td>4</td><td>2</td></tr></tbody></table>	5	3	1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	6	4	2	マスタ
5	3	1											
<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>											
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>											
6	4	2											
<table border="1"><tbody><tr><td>5</td><td>3</td><td>1</td></tr><tr><td><input type="radio"/></td><td><input checked="" type="radio"/></td><td><input type="radio"/></td></tr><tr><td><input type="radio"/></td><td><input type="radio"/></td><td><input type="radio"/></td></tr><tr><td>6</td><td>4</td><td>2</td></tr></tbody></table>	5	3	1	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	6	4	2	スレーブ
5	3	1											
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>											
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>											
6	4	2											
<table border="1"><tbody><tr><td>5</td><td>3</td><td>1</td></tr><tr><td><input type="radio"/></td><td><input type="radio"/></td><td><input checked="" type="radio"/></td></tr><tr><td><input type="radio"/></td><td><input type="radio"/></td><td><input type="radio"/></td></tr><tr><td>6</td><td>4</td><td>2</td></tr></tbody></table>	5	3	1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	6	4	2	ケーブルセレクト (出荷時設定)
5	3	1											
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>											
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>											
6	4	2											

POINT

▶ 本設定は、お客様の環境によって異なります。『CELSIUS マニュアル』をご覧ください。

2 準備

POINT

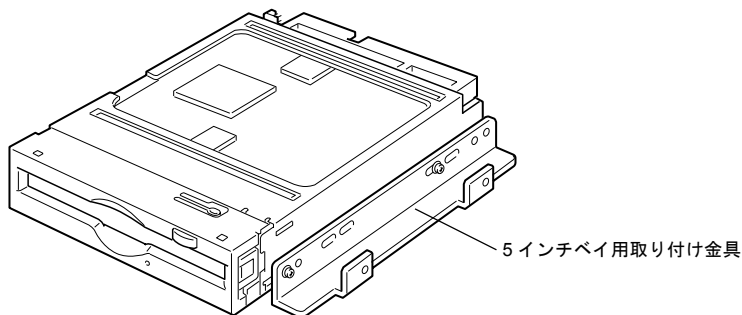
- ▶ ワークステーション本体、ソフトウェアの準備については、それぞれの説明書をご覧ください。
- ▶ 本製品が搭載可能なワークステーション本体は、『CELSIUS シリーズシステム構成図』で確認してください。

搭載方法

装着の前に、ワークステーション本体の電源を必ず切ってください。本製品のワークステーション本体への搭載方法については、『CELSIUS マニュアル』を参照してください。

POINT

- ▶ 添付の 5 インチベイ用取り付け金具 (2 個) を、本製品にある MO2 の刻印またはラベルの矢印のついた穴に取り付けてから、ワークステーション本体に装着してください。



ソフトウェアのインストール

■ デバイスドライバのインストール

本製品で使用するソフトウェアは、ワークステーション本体に添付のドライバーズ CD に入っています。

POINT

- ▶ 本製品は、セキュリティに対応していないため、MO Security Tool は使用していません。

本製品を使用する場合は、ご使用のワークステーションの OS 環境に合わせて、デバイスドライバをインストールしてからご使用ください。インストール方法は、『CELSIUS マニュアル』をご覧ください。

本製品を使用できる OS は、Windows NT/2000/XP です。
これ以外の OS では使用できません。

POINT

▶ CL2PD12 の場合、デバイスドライバはワークステーションにインストールされています。

■ 注意事項

□ Windows NT の場合

- 本製品でのフォーマットは、上記「Windows NT 用デバイスドライバ」の中のフォーマットを使用して行ってください。
マイコンピュータ右クリックの画面でフォーマットを行った場合、以下のような不具合が発生します。
 - 640MB のスーパーフロッピ形式の MO ディスクに対して、マイコンピュータ右クリックの画面でフォーマットを行った場合、その MO ディスクは、Windows NT では使用できなくなる。
もし、間違えてこの操作をしてしまった場合は、上記「Windows NT 用デバイスドライバ」の中のフォーマットを使用してください。
- 「Windows NT 用デバイスドライバ」の中のフォーマットで物理フォーマットを行う場合は、論理フォーマットも一緒に実行されるようになっていきますので、物理フォーマット指示画面で論理フォーマットのパラメータも指示して実行してください。
物理フォーマットは、論理フォーマットでエラーになる場合、または論理フォーマットができてその後の使用でエラーになってしまうような場合に実行してみてください。
通常の使用では物理フォーマットを行う必要はありません。
- エクスプローラで MO ドライブをアクセスしておいて、本デバイスドライバの MO フォーマットを起動して MO ドライブを選択すると、「このドライブはロックできないため、排他的に使用することはできません。別のアプリケーションがドライブにアクセスしていないか確認してください」と表示される場合があります。
このような場合は、エクスプローラでの MO ドライブアクセスを解除してご使用ください。
- 本デバイスドライバの MO フォーマットで MO ドライブを選択した状態で、ファイルマネージャで MO ドライブをアクセスすると、「x:¥にアクセスできません。…」と表示される場合があります。
このような場合は、MO フォーマットで MO ドライブを選択した状態を解除してご使用ください。
- Windows NT で、エクスプローラでの右クリック画面でディスク取り出し指示をした場合、「リムーバブルディスク (x) をマウントするときに、エラーが発生しました。そのボリュームのファイルまたはウィンドウを開いていないか確認してください」と表示され、ディスクが排出されないことがあります。
このような場合は、マイコンピュータでの右クリック画面でディスク取り出し指示をしてください。
- Windows NT では FAT32 形式のフォーマットは使用できません。

□ Windows 2000 の場合

- MO ディスクにアクセス中やフォーマット中に OS をシャットダウンしたり、ワークステーション本体を Suspend させたりしないでください。データが破壊されるおそれがあります。
- 物理フォーマットされていない MO ディスクは認識されません。

- ・ OS 標準の設定では、Administrator 権限以外では MO ディスクのフォーマットや取り出しはできません。
ユーザ権限でも MO ディスクのフォーマットや取り出しを行いたい場合は、以下の操作を行ってください。
 1. Administrator 権限でログオンする。
 2. 「コントロールパネル」 → 「管理ツール」 → 「ローカルセキュリティポリシー」を起動する。
 3. 「ローカルポリシー」 → 「セキュリティオプション」 → 「デバイス：リムーバブルメディアを取り出すのを許可する」の設定を、「Administrators」から "Administrators and Interactive Users" に変更してください。
注) OS 再起動をせずに設定変更をした場合に、その設定が反映されないことがあります。その場合は OS の再起動をしてください。
- ・ NTFS フォーマットはなるべく使用しないことをお勧めします。
以下のような不具合があります。
 - ライトプロテクトされた NTFS にフォーマットされた MO ディスクにはアクセスできません。
 - NTFS でフォーマットされた MO ディスクは、本製品のイジェクトボタンでは取り出しできません。ドライブアイコンの右クリックの「取り出し」を使用してください。
 - Windows 2000 で NTFS にフォーマットされた MO ディスクは、WindowsNT では使用できません。

□ Windows XP の場合

- ・ MO ディスクにアクセス中やフォーマット中に OS をシャットダウンしたり、ワークステーション本体を Suspend させたりしないでください。データが破壊されるおそれがあります。
- ・ 物理フォーマットされていない MO ディスクは認識されません。
- ・ OS 標準の設定では、Administrator 権限以外では MO ディスクのフォーマットや取り出しはできません。
ユーザ権限でも MO ディスクのフォーマットや取り出しを行いたい場合は、以下の操作を行ってください。
 1. Administrator 権限でログオンする。
 2. 「コントロールパネル」 → 「管理ツール」 → 「ローカルセキュリティポリシー」を起動する。
 3. 「ローカルポリシー」 → 「セキュリティオプション」 → 「デバイス：リムーバブルメディアを取り出すのを許可する」の設定を、「Administrators」から "Administrators and Interactive Users" に変更してください。
注) OS 再起動をせずに設定変更をした場合に、その設定が反映されないことがあります。その場合は OS の再起動をしてください。
- ・ NTFS フォーマットはなるべく使用しないことをお勧めします。
以下のような不具合があります。
 - ライトプロテクトされた NTFS にフォーマットされた MO ディスクにはアクセスできません。
 - NTFS にフォーマットされた MO ディスクは、本製品のイジェクトボタンでは取り出しできません。ドライブアイコンの右クリックの取り出しを使用してください。
 - Windows XP で NTFS にフォーマットされた MO ディスクは、Windows NT では使用できません。

■ MO イジェクトツールのインストール

MO イジェクトツールは Windows が以下の状態に移行するときに、自動で媒体を排出させるツールです。セキュリティメディア使用時のトラブルや、媒体排出忘れなどを回避するためにも、インストールし、自動排出することをお勧めします。

・ **媒体を排出する条件**

再起動・終了・ログオフ・スタンバイ・休止状態・ユーザー（アクセス権限）の切り替え

POINT

- ▶ スタンバイ・休止状態は、Windows 2000/XP の機能です。
- ▶ ユーザーの切り替えは、Windows XP の機能です。

1 **CD-ROM ドライブにワークステーション本体添付のドライバーズ CD をセットします。**

2 「スタート」－「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

3 名前を次のように指定して「OK」をクリックします。

[CD-ROMドライブ]:¥[MO関連フォルダ]¥Eject¥NT_2k_XP¥SETUP.EXE

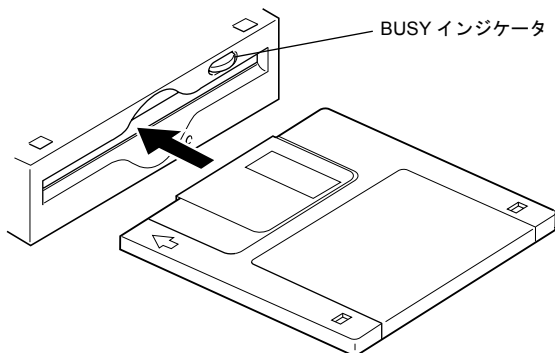
後は、画面に表示されるメッセージにしたがって操作を続けてください。

「Windows NT/2000/XP 用 MO イジェクトツール」の機能および詳細については、ワークステーション本体添付のドライバーズ CD の上記フォルダ（ディレクトリ）の README.TXT を参照してください。

3 使い方

ディスクの入れ方

- 1 ワークステーション本体を起動します。
- 2 矢印のついた面を上にして、ディスクをディスク挿入口に差し込みます。



- 3 ソフトウェアを使って、ディスク上のデータを読み取ったり、書き込んだりします。
読み取り・書き込み中は、BUSY インジケータが点灯します。

POINT

- ▶ 本製品はパワーセーブ機能をもっており、約 30 分間アクセスがない場合、ディスクの回転を停止させています。
したがって、その後の最初のアクセスに対しては、ディスクの回転立ち上げ（約 8 秒間）のために、応答までの時間が長くなります。

ディスクの取り出し方

ディスクは以下のどちらかの方法で取り出すことができます。

1 Windows上でドライブアイコンを右クリックで表示されるメニューの「取り出し」を実行する

2 光磁気ディスクユニットの前面にある「EJECT ボタン」を押す

Windows 起動状態でディスクを取り出すときは、トラブルを避けるためにも 1 の方法で取り出すことをお勧めします。

POINT

- ▶ ディスクのデータの読み取り、書き込みにより BUSY インジケータが点灯している間は、ディスクを取り出さないでください。点灯している間に取り出すと、データが正しく書き込まれなかったり、ディスクのデータが消えてしまったりすることがあります。
- ▶ 本製品を固定ディスクとして使用する場合は、ワークステーションの操作中はディスクを取り出さないでください。ワークステーションの操作中にディスクを取り出すと、データが正しく書き込まれなかったり、ディスクのデータが消えてしまったりすることがあります。
- ▶ 本製品はディスク取り出し時、ディスクを先端から約 2cm 引き出した位置で、引き出す力が強く必要になることがあります。これはディスクイジェクト動作時に、ディスクが本製品から飛び出してしまうのを防ぐための動作であり、故障ではありません。

■ ディスクが取り出せない場合は

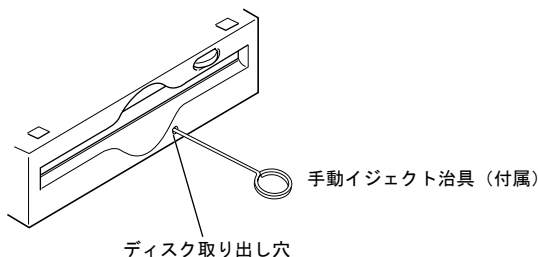
次のような場合は、EJECT ボタンを押してもディスクが取り出せないことがあります。

- ・ ソフトウェアでディスクのイジェクトが無効に設定されているとき
- ・ 本製品が故障したとき
- ・ ワークステーション本体にトラブルが生じたとき
- ・ 停電などで本製品の電源が入らないとき

この場合は、次のようにしてディスクを取り出します。

1 ワークステーション本体の電源を切ります。

2 付属の手動イジェクト治具を、ディスク取り出し穴にまっすぐに押し込みます。



4 取り扱いについて

本製品の取り扱い

■ 万一の故障を防ぐために

□ 衝撃・振動を与えないでください

落としたりして強い衝撃を与えると、故障することがあります。

□ 設置場所

次のような場所で、使用したり保管したりしないでください。

- ・ 湿気の多い所や乾燥している所
- ・ ほこりの多い所
- ・ 極度に高温や低温な所
- ・ 激しい振動のある所
- ・ 直射日光の当たる所
- ・ 不安定な所
- ・ 温度変化の激しい所

また、保管する場合は、プリント板面を上に向けてください。

□ 通風

本製品内部の温度上昇を防ぐため、動作中に布などで包んだり、空気の流通の悪いところに置いたりしないでください。本製品内部が高温になると、動作しなくなる場合があります。

□ 急激な温度変化は避けてください

寒いところから暖かいところに移したり、室温を急に上げたりしたときは、本製品内部に結露が起こる場合があります。急激な温度変化があった直後は使わずに、1時間以上待ってからお使いください。結露が起きたままディスクを入れると、本製品やディスクが損傷することがあります。結露が起きている可能性があるときは、すぐにディスクを取り出してください。

□ ディスクを入れたまま移動しないでください

使わないときは、ディスクを必ず取り出しておいてください。ディスクを入れたまま、ワークステーション本体を持ち運んだりしないでください。

また、使用中は、ディスクが高速で回転しています。このとき、本製品を動かすと動作が不安定になったり、ディスクを傷つけたりするおそれがあります。ディスクを取り出してから、移動してください。

□ 異常がおきたら

万一、異常や不具合が生じた場合は、ワークステーション本体の電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜き、弊社担当営業員または担当保守員に相談してください。

■ その他ご注意いただきたいこと

□ 雑音電波について

本製品は高周波の信号を扱うため、ラジオやテレビ、オーディオチューナーなどに雑音が入ることがあります。この場合は、距離を少し離してご使用ください。

□ 前面パネルが汚れたら

前面パネルの汚れは、乾いた柔らかい布で拭きとってください。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液を少し含ませた布でふきとり、乾いた布でからぶきしてください。アルコール・シンナー・殺虫剤など、揮発性の溶液剤は使用しないでください。表面の仕上げをいためたり、表示が消えたりすることがあります。

□ 長時間連続で使用する場合の寿命について

本製品には、有寿命部品（モータなど）が含まれており、長時間連続で使用した場合、早期の部品交換が必要になります。

□ 高温環境で使用する場合について

本製品を搭載したワークステーションを高温環境で使用する場合、大切なデータを失わないために本製品の温度センサが働き、動作が遅くなる場合があります。

□ 静電気について

本製品の基板や電子部品は人体に発生する静電気によって損傷を受ける場合があります。取り扱う前に、一度大きな金属質のものに手を触れるなどして静電気を放電してください。

ディスクの取り扱い

■ 取り扱い上のご注意

- MO ディスクに書き込み動作（コピーなど）をしているときは、画面上でファイルの転送が終わってもその後しばらくの間、MO ディスクにデータの書き込みが行われます。（本製品全面の BUSY インジケータが点灯しています）
この場合、BUSY インジケータが点灯している間は、本製品のイジェクトボタンを押したり、取り出しメニューをクリックしたりすることは絶対にしないでください。書き込みデータが保証されなくなることがあります。
- 他のソフトウェアでフォーマットしたスーパーフロッピー形式のディスクには、Windows NT ではご使用できないものがあります。
（例：「3.5 インチ光磁気ディスク互換媒体ドライバ」でフォーマットしたもの、および RINGOWIN や内蔵光磁気ディスクユニットの添付ユーティリティ（FJFDISKJ.EXE）や SCSI カードの添付ユーティリティ（AFDISK.EXE）でフォーマットした後に MS-DOS の FORMAT コマンドでフォーマットしていないものなど）
- ディスクに激しい振動を与えたり、落としたりしないでください。
- ディスクは、工場出荷時に精密に調整されていますので、分解しないでください。
- ディスクは、本製品に挿入すると、自動的にシャッターが開く自動装填式です。ディスクのシャッターを手で開けて、内部に触れないでください。
- 温度差の激しい所や湿気の多い所では使わないでください。結露が起こって、データの書き込み・読み取りができなくなる場合があります。

- ・必要以上に、ディスクを本製品に出し入れしないでください。
- ・ディスクのラベルは、端がはがれないように貼ってください。また、ラベルを重ねて貼らないでください。本製品から取り出せなくなる原因になります。
- ・使い終わったら、必ず本製品からディスクを取り出しておいてください。また、持ち運ぶときには必ずケースに入れてください。

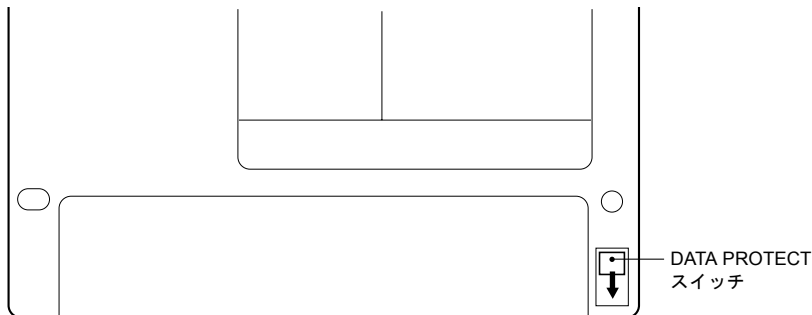
□ ディスクの保管について

- ・ディスクは、ケースに入れて保管してください。
- ・自動車のダッシュボードやトレーは高温になることがありますので、ディスクを絶対に放置しないでください。
- ・次のような場所に保管しないでください。
 - ほこりやちりの多い所
 - 直射日光の当たる場所
 - 暖房器具の近く
 - 湿気の多い所

■ ディスクのデータを守るために

ディスクには、ディスクのデータを誤って消したり、不要なデータを書き込んだりするのを防ぐための DATA PROTECT スイッチ (黒いつまみ) がついています。このスイッチを矢印の方向 (下) にスライドさせておくとディスクのデータを読み出すことはできますが、書き込むことができなくなります。スイッチを元に戻すと、再び書き込むことができるようになります。

書き込む必要のないディスクは、スイッチを矢印方向にスライドさせておいてください。



クリーニングについて

POINT

▶ レンズおよびディスクのクリーニングを定期的に行ってください。データを正常に読み書きできなくなることがあります。

■ レンズのクリーニング

本製品は、データを書き込んだり、読み取ったりするために、光学レンズを使用しています。レンズがほこりやごみなどで汚れていると、正常なデータの書き込み・読み取りができない場合があります。このようなことを防ぐために、ヘッドクリーナで定期的にクリーニングを行う必要があります。本製品の性能を維持するために、3ヵ月に一度はクリーニングを行ってください。

□ 使用できるヘッドクリーナ

光磁気ディスククリーニングカートリッジ（サプライ商品番号：0240470）（別売）をお使いください。クリーニング方法は、クリーニングカートリッジの使用説明書をご覧ください。

■ ディスクのクリーニング

ディスクを長い間使用すると、ディスク上にほこりや汚れが付着し、データを正常に読み書きできなくなる場合があります。このようなことを防ぐために、ディスククリーニングキットでクリーニングを行う必要があります。

ディスクの性能を維持するために、3ヵ月に一度はクリーニングを行ってください。

□ 使用できるクリーニングキット

光ディスククリーニングキット（サプライ商品番号：0632440）（別売）をお使いください。クリーニング方法は、クリーニングキットに付属の使用説明書をご覧ください。

主な仕様

性能

総記憶容量 (注)	128Mbytes 230Mbytes 538Mbytes 643Mbytes
セクタ容量	512 bytes (128 ~ 540MB) 2048 bytes (640MB)
回転数	5455rpm
平均回転待ち時間	5.5msec
平均シーク時間 (回転待ち、コマンドオーバーヘッドを含みません)	23msec
データ転送速度	
連続ライト (実効)	0.33 ~ 1.55Mbytes/sec (640MB)
連続リード (実効)	2.79 ~ 4.66Mbytes/sec (640MB)
ロード時間 (平均)	8.0sec
アンロード時間 (平均)	4.0sec
ホストインタフェース	ATAPI

(注) フォーマット時の容量を 1 Mbyte = 1000 × 1000 バイトで換算

電源・その他

電源	DC + 5V
消費電力	5.8W
最大外形寸法	101.6 × 25.4 × 150mm
(突起部を含まず)	(幅×高さ×奥行き)
質量	410g

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

CELSIUS シリーズ
内蔵光磁気ディスクユニット (ATAPI) (CLEPD12)
内蔵光磁気ディスクユニット追加機構 (ATAPI) (CL2PD12)

B5FY-2561-01-00

発行日 2002年6月
発行責任 富士通株式会社

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。

FUJITSU

このマニュアルは再生紙を使用しています。

